

口減らしのため乳飲み子を岩穴に捨てた。すると、一晩中その子どもの泣き声が里まで聞こえたと言う。いつしかその岩穴を『乳子岩』と呼ぶようになった。」という。

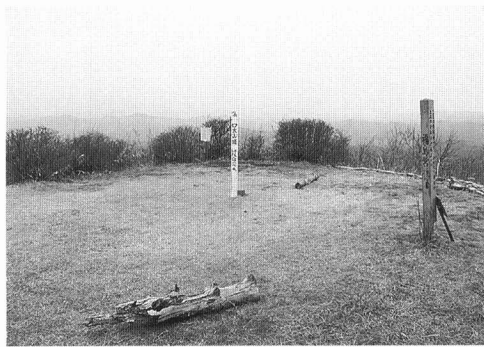
やまきや山木屋やまきやの蕨平わらひだいらから見ると三つの頂が見えそれぞれに、一番口太、二番口太、三番口太と名前がついている。それぞれには沢があり、いつまでもそれらの沢に雪が残っていると、その年の作柄が悪いという言い伝えがある。

また、昭和三十八年六月二十八日に口太山北側を中心として一時間に八十ミ近い豪雨が降り、ふもとの荒町地区には土砂を混えた鉄砲水が押し寄せ、地区の大半が被災した。その中でも母子三人が濁流にのまれ死亡している。

山開き情報

毎年五月第二日曜日に、大綱木公民館と口太山愛好会が中心となって行っている。大綱木小学校跡地で受付を

行い、山頂に向かうことになっている。



山芝に覆われている山頂

アクセス

猿滑の滝、石尊神社せきぐんから登るには、福島交通バス「川俣」針道なぐさな線で「前平」もしくは「不動坂」下車
夏無沼なつなしから登るには、「笹ノ田」下車